



ふわり
社協マスコットキャラクター

明日からできる地域活動情報紙 /

Connect コネクト ふちゅう

発行: 社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2022
April

Vol.

01

Take Free

いざ! 地域へ!

定年退職をした方、子育てが一段落して時間ができた方、土日なら空いているという学生さんなど、隙間の時間を活かして、地域の支えあい活動に参加している方々がいます。今回は、実際に地域で活動している3名の方のインタビューと、府中市全域で広がっている支えあいの地域活動をご紹介します。自分の得意なことや好きなことを活かせる活動を、ぜひ探してみてください。

[インタビューはこちら](#)



第八小学校登校見守り

Interview

※2面参照

地域のわがまち支えあい協議会 「押立・車返ささえあい協議会」で活動中



押立町在住
飛澤 明夫さん

主に参加している活動

ちょこっとお手伝い、まちあるき、フードパントリー / 地域なんでも相談員(※3面参照)としても活動中

きっかけは「なんとなく」、活動の原動力は「嬉しい」気持ち

Q.現在の活動に参加したきっかけについて

A.歳を重ね、今後の生活を考えたときに、ずっと家にいるのではなく、何か外に出るきっかけが欲しいなと思っていました。そんな時に、妻が広報紙で「地区社協モデル事業説明会の開催」の記事を見つけ、「とりあえず話だけでも聞いてみよう」という気軽な気持ちで参加し、その後の準備委員会もなんとなく続けて参加するようになりました。

Q.活動してみたの感想、良かったことなど

A.「わがまち」は組織として活動をするので、色々な意見があり、自分だけの想いで動けるわけではなく大変なこともあります。でも自分だけではできない活動に取り組むことができるというのは、緊張もしますが、とても刺激的です。活動をして喜んでもらえると、自分も嬉しい気持ちになる。その「嬉しい」の積み重ねで続けてきているのだと思います。何より、活動に参加したことで出会えた人たちがいる。自分が将来困っても、地域に心強い仲間がいると思える。ここでつながった「縁」が自分にとっては財産だと思っています。

Q.これから参加する方へメッセージをお願いします

A.「まずは一度参加してみてよ」と伝えたいです。参加してみて、続ける、続けないはその後考えればよいので、まずは一歩、気軽な気持ちで踏み出してほしいなと思います。

Interview

地域のわがまち支えあい協議会 「ささえあい四谷」で活動中



四谷在住
宮島 友子さん

主に参加している活動

四谷学童クラブ帰宅同行、子ども体験ボランティア、「ささえあい四谷だより」編集

「できる時に、できる範囲で」が続けられる秘訣

Q.現在の活動に参加したきっかけについて

A.人生設計の中で、55歳～65歳くらいまでの間にできることならボランティア活動をして、その後お世話になる側になるかなとイメージしていました。「ささえあい四谷」のことは、広報紙等で目にしたことはありましたが、話し合いの場に参加するというのは敷居が高いと感じていました。参加するきっかけになったのは、活動が詳しく載っているチラシをもらったことです。学童クラブからの帰宅同行であれば手伝えそう、また「パソコンができる人募集」という言葉も目にして、これならばお役に立てるかもと思え立ち、社会福祉協議会へ連絡しました。

Q.活動してみたの感想、良かったことなど

A.地域の様々な年代の方たちと知り合うことができました。活動しながらおしゃべりして情報交換ができるのも楽しみです。前向きで活動的な先輩方が多く、「65歳くらいまで」と思って活動を始めましたが、もう少し続けられそうかなと思っています。また、私は週3回ほど仕事をしながら活動しています。「できる時に、できる範囲で」という形で参加できるのも、この活動の良いところだと思います。

Q.これから参加する方へメッセージをお願いします

A.一度覗いてみたらいかがでしょうか? 活動してみると楽しいものですよ。

Interview

地域なんでも相談員として活動中



紅葉丘在住
里村 恵さん

主に参加している活動

子どもの日本語学習支援・訪問見守り活動、「わがまちありすの会」フードパントリーなど

「興味が湧いたらやってみる!」が原点

Q.現在の活動に参加したきっかけについて

A.広報紙で「地域なんでも相談員養成研修」の記事を見つけ、なんとなく興味が湧き、参加しました。登録した当初は市内の別の地域から引越してきたばかりで地域のことを知らず、活動を広げられずにいましたが、少し英語ができるということから、日本語支援が必要な子どもの支援に声をかけてもらい、現在につながっています。

Q.活動してみたの感想、良かったことなど

A.自分が行くことで安心してくれたり、相手が喜んでくれているのがわかると、こちらも嬉しくなり、それが何よりのモチベーションになっています。また、活動を通して地域の方と知り合い、地域のことを知ることができたことも良かったです。誰も知り合いがない状況でずっといたら、寂しい思いをしていたと思います。ボランティア活動を始めたおかげで、「ボランティアでこういうことをして…」と周りの人に声もかけやすくなりました。

Q.これから参加する方へメッセージをお願いします

A.私は何かを始める時、あまり目標は立てずに、少しでも興味が湧けばやってみることにしています。興味があることならば、楽しく活動できるものだと思います。初めの一歩というのはとても勇気がいるので、活動している人からお誘いできると思います。声をかけられたら是非、1つでもいいからやってみてほしいです。

わがまち支えあい協議会とは

立上げを目指すに至ったきっかけ

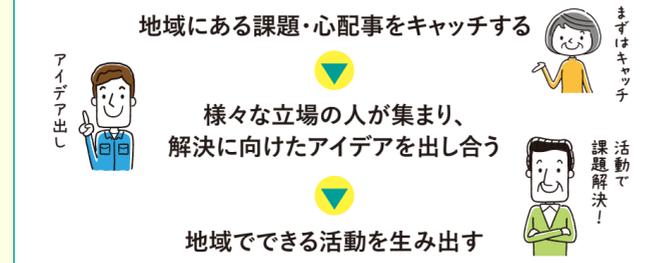
平成26年度に住民の懇談会での話し合いや、アンケート等を実施し、地域の様々な困りごとがわかりました。(下図↓)



その中には、公的な制度では解決が難しい困りごともありました。誰もが安心して自分のまちで暮らすためには、こうした個人の困りごとを「我が事」として捉え、一人ひとりの困りごとに寄り添い、解決に向けたしくみづくりが必要です。

わがまち支えあい協議会とは、住民の皆さんのより身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気付き、共有し、一緒に解決していくしくみです。現在市内11の文化センター圏域ごとに会が発足し、様々な取り組みをしています。

わがまち支えあい協議会の仕組み

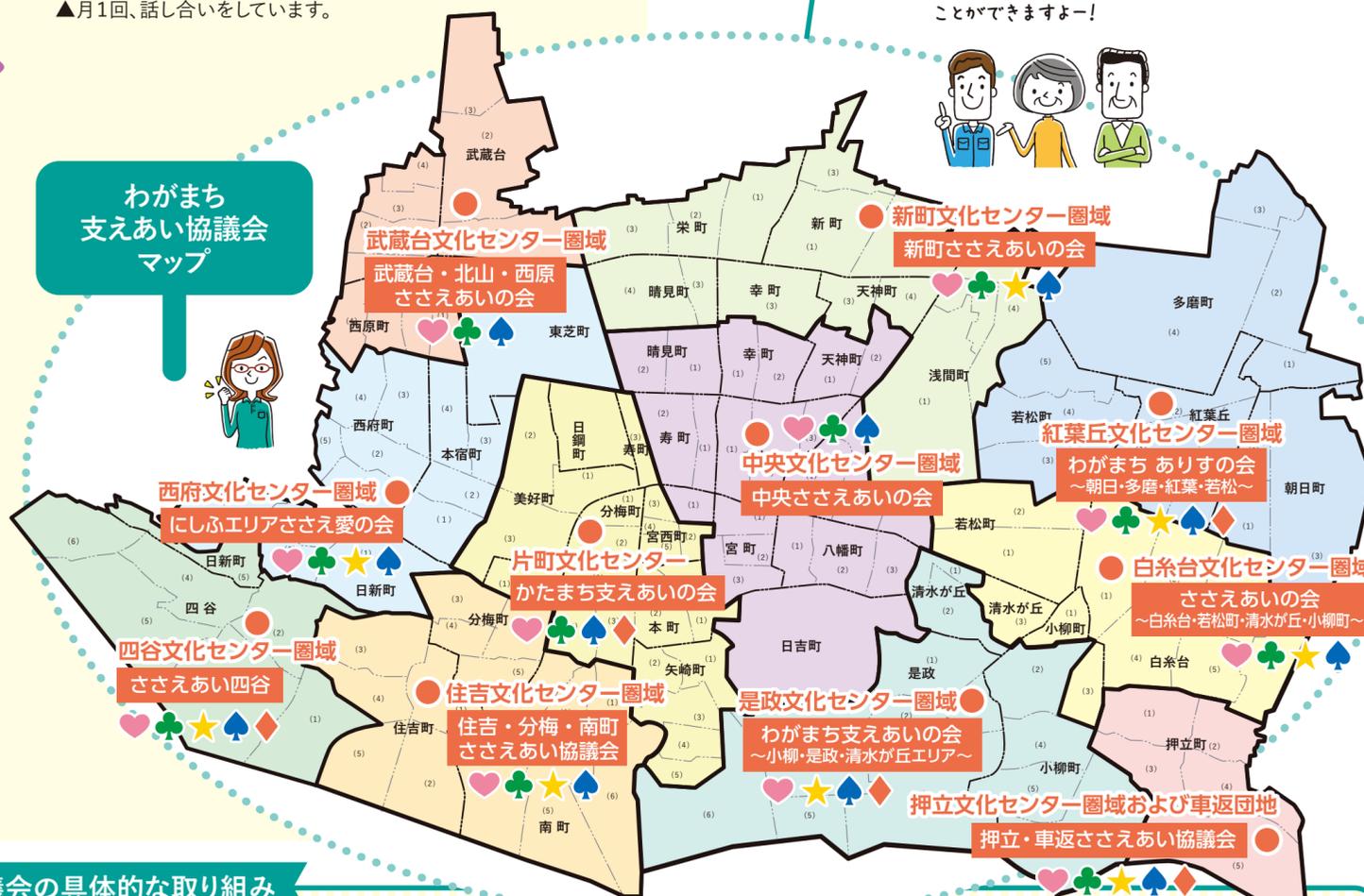


わがまち支えあい協議会の話し合いの様子



▲月1回、話し合いをしています。

わがまち支えあい協議会マップ



地図上にあるマークの説明

地図にあるマークは各文化センター圏域で行われている地域活動を表しています。ご参考してみてください。

- ♥ 「食」を通じた取り組み
 - ♠ ちょっとした生活支援
 - ♣ 居場所・交流
 - ♦ PR・その他
 - ★ 子どもの見守り
- ※令和4年2月末現在

地域デビューしてみませんか？
近くの文化センター圏域で
いろいろな活動に参加する
ことができますよー！



地域なんでも相談員

相談員ってどんなことをしているの？

地域のちょっとした気になること・心配事を地域福祉コーディネーターやわがまち支えあい協議会へつなぎ、解決に向けて、一緒に考えていく役割です。また、地域で孤立しがちな方を定期的に見守り・声かけを行う「見守り・声かけ活動」にも協力していただいています。

毎年、養成講座を開催しており、令和4年2月末現在148名が登録しています。



特技を活かして地域で活動中！

例えば、こんな人が活躍しています！

「定年後に仕事のスキルを活かしたい」「パソコンが得意」「絵を書くのが好き」「料理が得意」「掃除が好き」「体を動かすのが好き」などなど、特別な知識や資格は必要ありません。いろいろな人が地域で楽しく活動しています。

活動A

私は話し合いの時に、議事録を作っています！



中央ささえあいの会 倉光 互さん

活動B

趣味で水彩画をやっていたので、チラシ作りなどをお手伝いしています！



かたまち支えあいの会 関 尚美さん

わがまち支えあい協議会の具体的な取り組み

①「食」を通じた取り組み

食べるものにお困りの方へ、フードドライブやフードパントリーなど、食の支援を行っています。フードドライブとは、ご家庭などで余っている食品の寄付を集める活動です。フードパントリーとは、食べるものにお困りの方へ食品をお届けする活動です。食を通してつながることを目的に活動しています。



②居場所・交流

高齢者も子どもも障害のある方も、どなたでも参加できる地域の居場所です。住み慣れた地域の中で孤立することなく、生きがいをもち安心して暮らしていくための交流の場です。



③子どもの見守り

登校時や下校時、交通量の多い道などで旗を振り、子どもたちが安心して通行できるように見守りをしています。また、放課後の見守りや、学童クラブからの帰宅に同行するなど、地域で子どもたちを見守っている活動です。



④ちょっとした生活支援

電球交換やゴミ出しなど、公的サービスでは難しい、住民同士でできる30分程度のちょっとしたお手伝いです。活動を通して顔見知りになり、地域のつながりを作っていくことが目的です。



⑤PR・その他

その他の活動として、地域活動をより多くの方に知っていただくためにチラシを配布するPR活動や、ビブスを着て地域を歩く散歩会、子どもたちと花壇にお花を植える子どもボランティア体験などがあります。



地域活動参加のお問合せ方法は、次ページで紹介！

募集中！

- ・少しなら時間があるという方
- ・特技を活かしたい方
- ・作業的なことならお手伝いできる方
- ・子どもと交流したい方

ぜひお問合せください！
4ページをご覧ください▶



「地域活動のことをもっと知りたい!」「見学してみたい!」など
気になる方はお気軽にお問合せください!



お電話・メールで

☎ 042-364-5382

✉ fuwari@fsyakyu.or.jp



まずは地域に
ご紹介させて
いただきますね。

ちょっと地域の活動を
見学してみたいです!



お会いして①

暮らしの「困りごと相談会」

週に1回(新町は週3回)、**地域福祉コーディネーター**が、地域の文化センターで
相談会を開いています。お気軽にお立ち寄りください。

※祝日・年末年始はお休みです ※会場都合等でお休みになる場合もあります。

開催時間	月	火	水	木	金
9:15 〜 11:45	中央 文化センター			片町 文化センター ----- 西府 文化センター	住吉 文化センター
13:30 〜 16:00	紅葉丘 文化センター	武蔵台 文化センター ----- 是政 文化センター	白糸台 文化センター	押立 文化センター ----- 四谷 文化センター	

開催時間	月・水・木
9:30 〜 16:00	新町 文化センター

＼地域福祉コーディネーターって何をする人?／



地域福祉コーディネーターは、困りごとを抱えている個人に寄り添い、関係機関や専門職との横断的なネットワークを駆使し、困りごとの解決へ向けて支援します。
また、その個人が住み慣れた地域で暮らしていくために、地域住民が「他人事ではなく、我が事」と捉え、主体的にその個人を支援するしくみを地域住民と一緒に作るなど、地域力を高めるための支援活動を行います。



お会いして②

社会福祉協議会の窓口

〒183-0055 府中市府中町1-30 ふれあい会館 2階



色々とご紹介
いたしますね。

何か地域の活動に
協力したいのですか...

アクセス



Connect ふちゅう 創り手について

この度、地域福祉コーディネーターの情報紙「Connectふちゅう」が創刊されることになりました。つながるという意味の「Connect」と、Coordinatorの「Co」をかけて、「Connectふちゅう」と名付けました。皆さんとコーディネーターがつながる、皆さんが地域とつながる、そんな想いを込めています。年2回、明日からできる地域活動の情報をお届けします。明日からの一歩になりましたら嬉しいです。

お問合せ

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
地域活動推進課 まちづくり推進係



ホームページへ
移動できます

TEL: 042-364-5382
FAX: 042-362-9090
メール: fuwari@fsyakyu.or.jp

<http://www.fsyakyu.or.jp/>

受付時間: 月～土曜日(祝日・臨時休館日を除く)
午前8時30分～午後5時15分